高校生のための

九州大学
医学部 生命科学科紹介

2017

Kyushu University
School of Medicine
Department of Biomedical Science

「医学部において
生命科学を学ぶという選択」

九州大学医学部生命科学科長
康　　東 天

今世紀は生命科学と情報科学の融合の時代です。今や医療・生命科学産業はこれからの日本を支える基幹産業として発展することが期待されており、政府も産業立国の柱の一つとしてその育成を目標に掲げています。医療・生命科学を産業として発展させる人材として、もちろん医師も重要な役割を果たしていますが、実際には、学問のみならず産業としての発展と言う観点からは、医学部以外で生物学・生命科学を学んだ人材に強く依存しています。

九州大学医学部の生命科学科は医学に深い造詣のある生命科学研究者の養成を第一の目的に掲げて設立されました。全国の医学部に医学科以外の学科は数多くありますが、そのほとんどは医療人の育成を目指したものです。医学的素養がきっちりと教育された生命科学者を養成するという理念を実現するためのシステムとして、九州大学医学部の生命科学科では、学生は３年生の前半まで医学科の学生と全く同じ教育を受け、３年生の後半からは独自の生命科学の講義を受ける一方で早期に研究室に配属されるという日本の他の大学に例を見ない教育課程と研究課程を実現しています。

2007年４月に産声を上げた生命科学科も2017年で10年がたち、今、多くが九州大学を始めとする各大学の博士課程に進学し、本格的な研究者としての道を歩んでおり、今年の春には博士課程の修了者が研究室のスタッフとして活躍を始めています。九州大学医学部生命科学科の学生は、医学部とそれに連なる九州大学医学研究院大学院課程において、生命の本質を研究する基礎医学・基礎生命科学のみならず、現在何かと賑やかなiPS細胞を始めとする幹細胞を用いた再生医療研究など、最先端で臨床に直結した研究にも参画できます。

医療・生命科学産業の成果はそのほとんどが結局は人間がより健康的な生活を送ることに帰

結することから、人間の生命科学（つまり医学）に対する深い知識と洞察力を持つ人材に対する期待は、産業界だけでなく研究の世界においても増す一方です。医学部において生命科学を学ぶという選択の価値はそこにあります。優秀な若い皆さんが仲間として集ってくれることを大いに期待しています。

生命科学科に興味がある方は、下記のURLに示しますウェブサイトをご覧ください。

http://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/

沿　　革／History －おもな年表－

明治 36 年　4月　1日	京都帝国大学福岡医科大学開設
〃　44 年　4月　1日	京都帝国大学福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となる
大正　8 年　4月　1日	九州帝国大学医科大学は九州帝国大学医学部となる
昭和　3 年 10 月 24 日	創立 25 周年記念祝典挙行
〃　22 年 10 月　1日	九州帝国大学医学部は九州大学医学部となる
〃　28 年　5月　3日	医学部創立 50 周年記念式典挙行
〃　30 年　4月　1日	九州大学大学院医学研究科設置
〃　48 年 11 月 24 日	創立 70 周年記念式典挙行
〃　53 年 11 月 25 日	創立 75 周年記念式典挙行
〃　58 年 11 月　5日	創立 80 周年記念式典挙行
〃　61 年　4月　1日	医学研究科を医学系研究科に拡充改組、分子医学系専攻博士課程及び分子生命科学系専攻博士課程（後期3年の課程のみの博士課程）増設
平成 12 年　4月　1日	医学系研究科を廃止し、医学系学府（大学院教育組織）及び医学研究院（大学院研究組織）を設置
〃　15 年　3月　8日	創立 100 周年記念式典挙行
〃　15 年　4月　1日	医学研究院の８部門を基礎医学部門、先端医療医学部門、臨床医学部門、分子生命科学系部門及び医学教育学部門の５部門に、23 講座を 11 講座に再編
	大学院医学系学府に医科学専攻（修士課程）が設置された
	医学研究院附属統合教育研究実習センターを廃止し、全学共同教育研究施設として医療系統合教育研究センターを設置
	大学院システム生命科学府の設置に伴い、大学院医学系学府分子生命科学系専攻は、同専攻学生が在学する間存続することとなった
	学校教育法の改正により、大学院医学系学府医療経営・管理学専攻修士課程（専門大学院）は、同（専門職大学院）となる
〃　16 年　4月　1日	九州大学は国立大学法人九州大学が設置する大学となった
〃　19 年　4月　1日	医学部に生命科学科を設置
	大学院医学系学府に保健学専攻（修士課程）を設置
〃　20 年　4月　1日	大学院医学系学府博士課程を１専攻に再編
〃　21 年　4月　1日	大学院医学系学府に保健学専攻（博士後期課程）を設置
〃　24 年　4月　1日	医学研究院に応用幹細胞医科学部門設置
	同部門に応用幹細胞医科学講座設置

医学部生命科学科案内

医学部生命科学科では、人ならびに様々なモデル動物を対象とした次世代の生命医科学研究と医学教育を担う人材を育成し、世界に向けて輩出することを目標としています。そのために、本学科では多様な生命活動とその分子メカニズムに興味を持ち、未知の領域を探求する旺盛な好奇心と柔軟な思考力をもつ学生を歓迎します。同時に、国際的に活躍するには高い語学力が求められます。研究のみならず語学力の向上に向け、意欲的に取り組む学生を歓迎します。

教育理念（教育理念・目標、育成する人材等）

医学部生命科学科に入学した学生は、最初に生物学と医学の幅広い基礎的知識を修得することが求められます。その後に、生命医科学の最新の知識の修得を可能とするプログラムが準備されています。このような教育プログラムによって「幅広い知識と高度な専門的能力を備えた人材」、「課題発掘ならびに問題解決能力を備えた人材」、「生命医科学の研究分野でリーダーシップを発揮できる人材」、「国際的視野に立ち基礎医学教育を担う人材」を育成したいと考えています。

教育指導体制

生命科学科ならびに医学科教員が本学科の教育プログラム全般を担当します。また、必要に応じて学内の他部局の教員や他大学の教員が本学科の教育に参加します。各学年には担任を置き、個々の学生からの相談に対応します。

教育プログラムの特色・内容

生命科学科では、1、2年次において生物学や医学の基礎知識を修得するとともに、種々の実習科目において基本的な実験操作を修得します。さらに、高年次においては分子細胞生物学、高次機能制御学、生体情報科学、臨床医学等の講義（下記のキーワードを参照のこと）を通じ、最新の研究に関する知識を修得します。また、3年次に設けられた研究室配属ならびに4年次に取組む生命科学特別研究では、希望する研究室に配属され、教員の個別指導のもとに研究を行います。生命科学特別研究では、学生一人ひとりにテーマを設定し、取組んだ成果をまとめて卒業論文を作成しますが、この過程で研究を行う上で必要な基礎的能力を身につけることができます。

国際的に活躍する人材を養成するためには、高い英語力が不可欠です。そこで、英語教育を重視したカリキュラムを準備しています。英語論文の読解だけでなく、コミュニケーション能力の修得に向け、指導を行います。

1. **分子細胞生物学**：
   生化学、細胞生物学、ゲノム医科学、構造生物学、微生物学
2. **高次機能制御学**：
   免疫学、分子薬理学、脳・神経機能学、分子病理学、予防医学、分子疫学、発生再生医学、遺伝子・細胞療法学
3. **生体情報科学**：
   情報生物学、遺伝情報解析学
4. **臨床医学**：
   脳神経・運動器概論、循環器概論、呼吸器・造血器概論、腎・泌尿生殖器概論、周産期・成長発達医学概論、アレルギー・膠原病・感染症概論、消化器概論、心身医学・精神医学概論、内分泌・代謝・老化概論、感覚器・皮膚概論

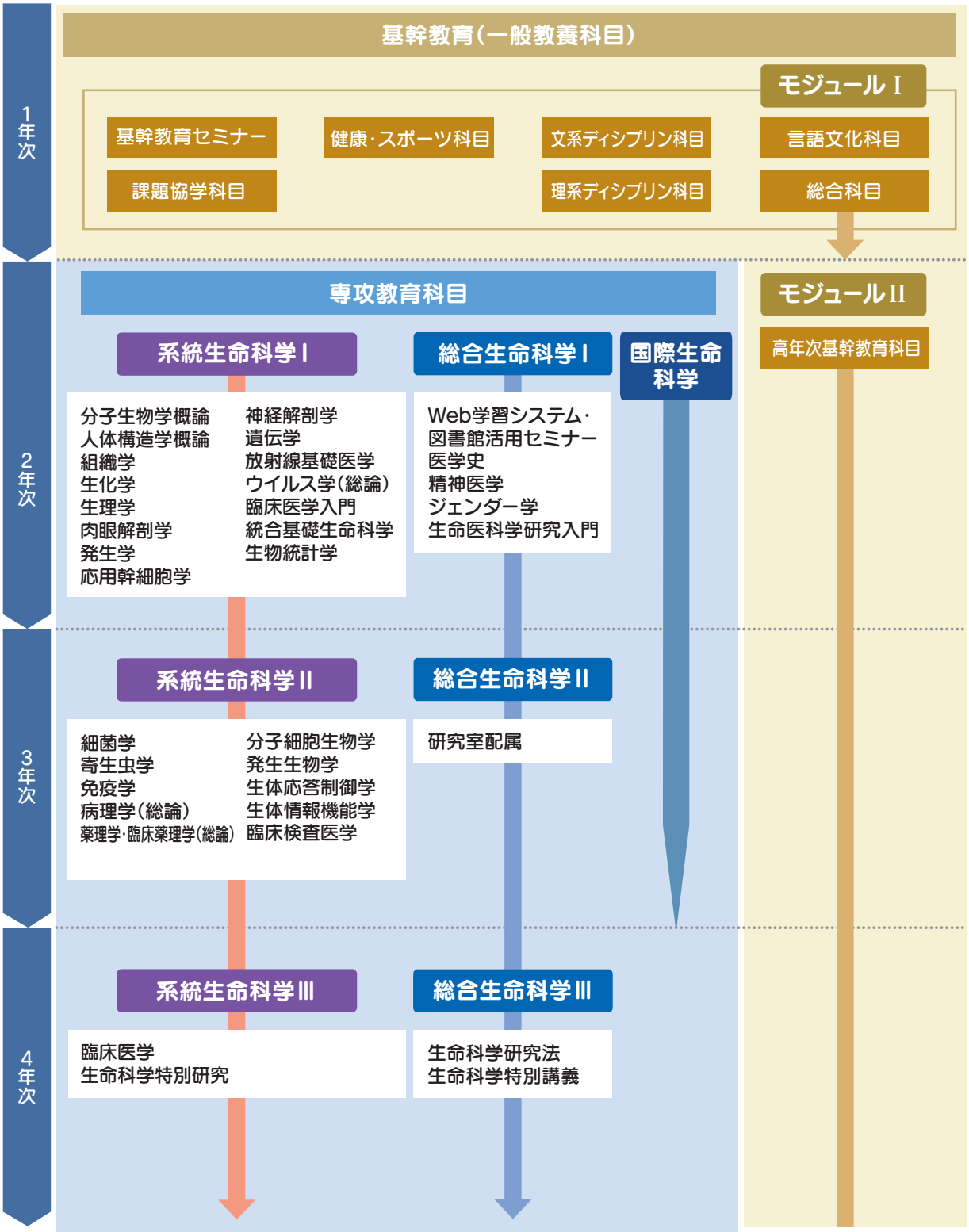
求める学生像（求める能力、適性等）

人を含む様々な生物の生命現象に興味を持ち、生命医科学関連領域の学習と研究に情熱をもって臨む志の高い学生を求めます。本学科では将来の生命医科学研究と医学教育を担う多数の人材を輩出するため、基礎的講義・実習を土台に最先端の生命医科学研究を行うまでの教育プログラムを準備しています。このような講義・実習ならびに研究内容を理解するには、高校において理系科目（数学、理科〔生物、化学、物理〕）の履修を通じ、自然科学の基礎知識を習得するとともに、文系科目（国語、英語、社会）も幅広く履修することが望まれます。また、論理的に思考し、同時に論理的な説明を行う能力ならびに論理的な文章を書く能力を備えていることが望まれます。

入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方式、選抜基準等）

入学者選抜に関しては、平成24年度から一般入試（前期日程）のみを実施し、定員は12名です。選抜は、大学入試センター試験の成績及び個別学力試験の成績ならびに面接試験を実施し、合否を総合的に判断しています。

カリキュラム



※ユニット名は変更になることがあります。

学　　生／Students

(1)　学生定員及び在籍学生数 Enrollment Limit and Present Number

医　学　部
School of Medicine

（平成29年5月1日現在）
As of May 1st, 2017

	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total
医学科 Department of Medicine	定　員 Enrollment Limit	111	111	111	111	111	111	666
	在籍学生数 Present Number	117 (20)	134 (16)	108 (16)	118 (21)	124 (13)	102 (19)	703 (105)
生命科学科 Department of Biomedical Science	定　員 Enrollment Limit	12	12	12	12			48
	在籍学生数 Present Number	20 (12)	10 (4)	9 (4)	11 (4)			50 (24)
保健学科 Department of Health Sciences	定　員 Enrollment Limit	137	137	137	137			548
	在籍学生数 Present Number	142 (112)	133 (107)	137 (98)	143 (101)			555 (418)
合　計 Total	定　員 Enrollment Limit	260	260	260	260	111	111	1,262
	在籍学生数 Present Number	279	277	254	272	124	102	1,308

Figures in parentheses indicate the number of female students.

＊（　）内は女子で内数を示す。

大学院（修士課程）
Graduate School (Master's Course)

（平成29年5月1日現在）
As of May 1st, 2017

専　攻　名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医科学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences	定　員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	24	15	39
保健学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences, Department of Health Sciences	定　員 Enrollment Limit	27	27	54
	在籍学生数 Present Number	30	50	80
合　計 Total	定　員 Enrollment Limit	47	47	94
	在籍学生数 Present Number	54	65	119

大学院（専門職学位課程）
Graduate School (Master's Course)

（平成29年5月1日現在）
As of May 1st, 2017

専　攻　名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医療経営・管理学専攻 Health Care Administration and Management	定　員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	16	19	35
合　計 Total	定　員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	16	19	35

大学院(博士課程)
Graduate School(Doctor's Course)

(平成29年5月1日現在)
As of May 1st, 2017

専　攻　名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
臓器機能医学専攻 Medicine and Surgery	定　員 Enrollment Limit	—	—	—	—	—
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	1	1
環境社会医学専攻 Environmental Health and Socio-Medical Sciences	定　員 Enrollment Limit	—	—	—	—	—
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	—	—
医学専攻 Department of Medical Sciences	定　員 Enrollment Limit	107	107	107	107	428
	在籍学生数 Present Number	138	127	123	196	584
保健学専攻 Doctor Course in Graduate School of Health Sciences	定　員 Enrollment Limit	10	10	10	—	30
	在籍学生数 Present Number	7	15	30	—	52
合　計 Total	定　員 Enrollment Limit	117	117	117	107	458
	在籍学生数 Present Number	145	142	153	197	637

＊平成20年4月より1専攻化　＊保健学専攻は博士後期課程

(2)　学部卒業生数 Number of Graduates

(平成29年5月1日現在)
As of May 1st, 2017

		平成26年度 2014	平成27年度 2015	平成28年度 2016	平成3年7月1日以降の卒業者数(累計) Total (1991.7.1～2017.3.31)
医学科 Department of Medicine		111	105	102	2,689
生命科学科 Department of Biomedical Science		11	10	17	92
保健学科 Department of Health Sciences	看護学専攻 Nursing Course	68	71	69	783
	放射線技術科学専攻 Radiological Sciences Course	35	32	32	383
	検査技術科学専攻 Medical Technology Course	36	34	36	390
	小計 Total	139	137	137	1,556
計 Total		261	252	256	4,337

＊医学部保健学科は、平成14年10月に九州大学医療技術短期大学部を改組して設置。第1回卒業生は平成19年3月。
Department of Health Sciences was founded in Oct. 2002, The first graduating class was in March, 2007

医学部(医学士)卒業生

学部(旧制)累計 School of Medicine(Old system) ——— 4,766名

学部(新制　昭和24年以降入学～平成3年6月30日卒業)累計 School of Medicine(New system　1949～1991.6.30) 3,858名

医学専門部累計 Medical College ——— 838名

平成30年度入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方式、配点等）

入学定員：12名　一般入試（前期日程12名）

(1) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

前期日程

	国　語	地理・歴史	公民	数　学	理　科	外国語	面　接	計
センター試験	100	50		100	100	100	－	450
個別学力検査	－	－		250	250	200	100	800
計	100	50		350	350	300	100	1,250

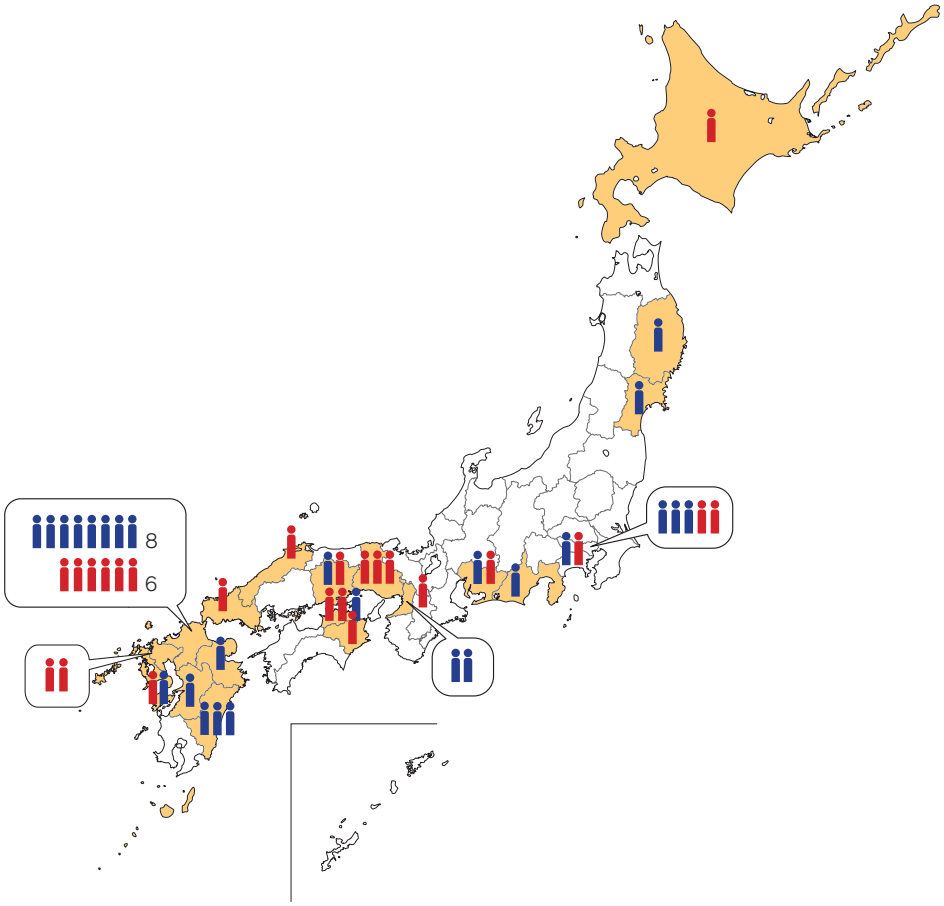
(2) 個別学力検査実施教科・科目等

前期日程

	数　学	理　科	外国語	面　接
科　目	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 5科目	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 2科目選択	英語 コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ ドイツ語 フランス語 1科目選択	
配　点	250（150分）	250（150分）	200（120分）	100（1人20分以内）

出身高校所在地別　在学生の分布

生命科学科在学生の出身地は、下図に示すように小さいながらも日本中から学生が集まる学科です。全国各地から集まった仲間達と共に学ぶ中で、人間性をより豊かなものにする新しい出会いが待っています。



		1年生		2年生		3年生		4年生	
		男　性	女　性	男　性	女　性	男　性	女　性	男　性	女　性
全体									
北海道	北海道		1						
東北	岩手	1							
	宮城	1							
関東	東京	1	2	1		1			
	神奈川		1			1			
中部	静岡			1					
	愛知					1	1		
近畿	奈良				1				
	大阪					1		1	
	兵庫		2				1		
中国	岡山		1	1					
	島根				1				
	山口						1		
四国	香川				1		1	1	
	徳島				1				
九州	福岡	2	4	1				5	2
	佐賀								2
	長崎	1	1						
	大分			1					
	熊本	1							
	宮崎	1		1		1			

キャンパスカレンダー

4月

入学式
新入生歓迎合宿
新入生オリエンテーション

入学式

新入生オリエンテーション（第11期生）

5月

教職員との懇親会

6月

前期研究室配属（3年）

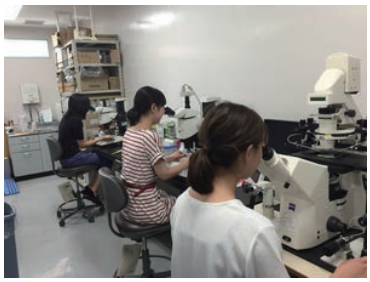
教職員との懇親会

7月

阿蘇シンポジウム（希望者）
（阿蘇シンポジウム事務局主催）

8月

夏期休暇
オープンキャンパス



研究室配属

9月

SVEP 語学研修（希望者）
（国際部、九大カリフォルニアオフィス）

10月

国際生命科学Ⅱ：
英語によるポスター発表（3年）
後期研究室配属（3年）
九大祭

国際生命科学Ⅱ：英語によるポスター発表

九大祭

11月

12月

1月

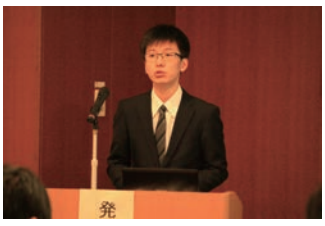
2月

卒業研究発表会（4年）

3月

卒業式（4年）

卒業式



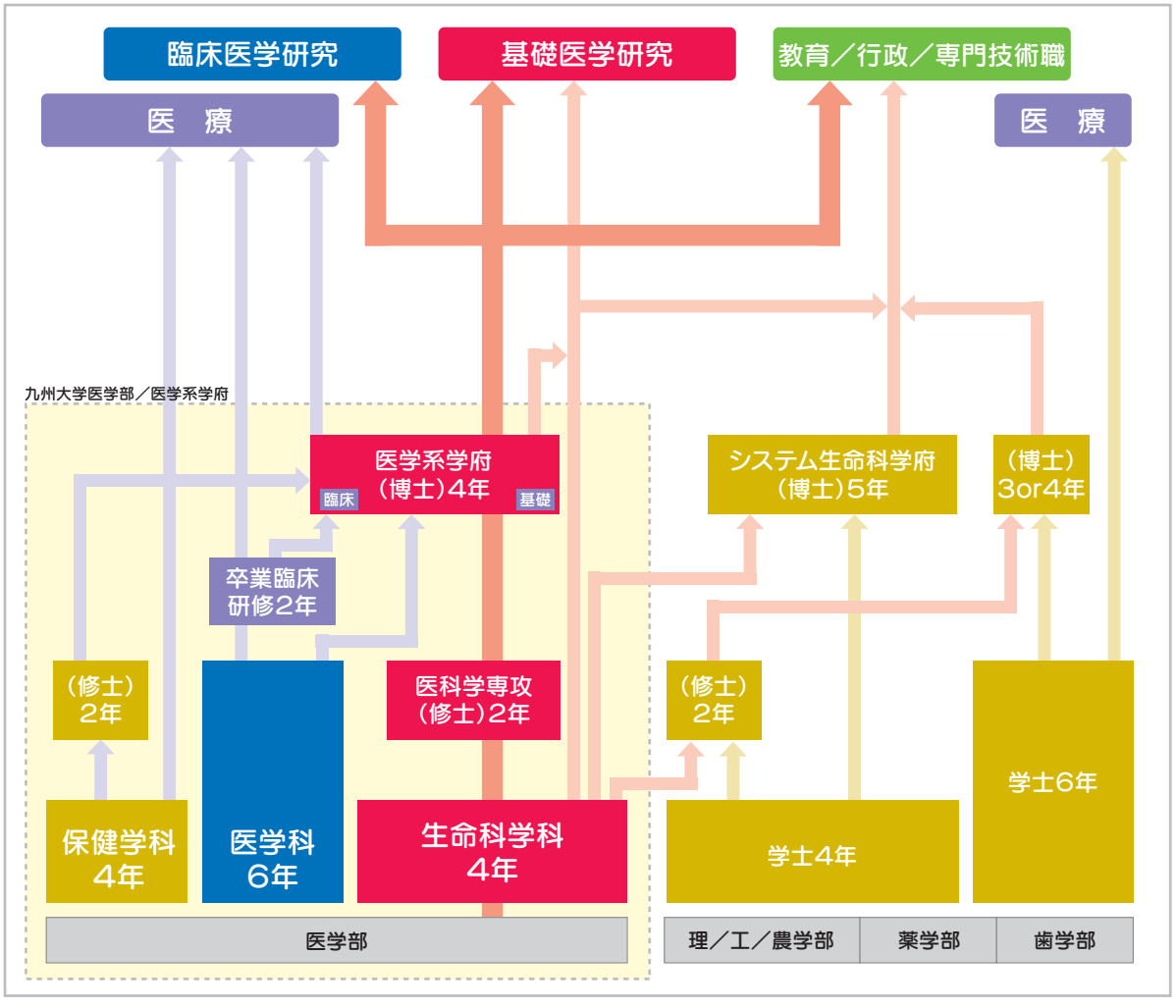
卒業研究発表会

卒業生の進路

生命科学科の卒業生の多くは、本学科で経験した研究室での研究を発展するべく、大学院修士課程に進学しています。

進　路	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月
九州大学大学院医学系学府	8	9	6	7	11
九州大学大学院システム生命科学府		2	2	1	2
九州大学大学院システム情報科学府					
他大学大学院	2	2	1		3
その他	2		2	2	1

進路の系統図



先輩からのメッセージ

平成29年6月作成

鄒 兆南（平成29年３月卒業）

生命科学という学問は漠然と広いもので、九州大学の生命科学科は医学部の中にあるというのが一つの特徴です。4年間の学生生活を通して私が感じた生命科学科の魅力は3つあります。1つ目は、3年次前期まで医学科と同じカリキュラムで授業を受けられることです。解剖学・生理学・病理学といった医学部ならではの授業を通じて研究に必要な基礎知識を身につけられます。2つ目は、3年次から研究室に通い、興味のある分野で研究を始められることです。研究というのは知識を覚えるのではなく、新しい知識を創ることにこそ意味があります。これまでの勉強とは全く性質が違うので、実際にやってみないとわからない部分が多く、早い時期から研究に参加することが研究のイメージをつかむための一番の近道ではないでしょうか。3つ目は定員が少ないことです。少人数だからこそ、同期との横のつながりはもちろん、先輩や後輩との縦のつながりも強く、様々な場面で助かります。また、配属先の研究室が数多くあるのに対し学生数が少ないため、自分が希望するところに行けます。卒業して改めて考えると、研究職を目指す人にとって、生命科学科はうってつけの環境を提供してくれる学科だったと思います。

生命科学科の魅力についていろいろお話してきましたが、これから皆さんが目指すであろう科学者の道は決して平坦ではないということもあえて少し触れておきます。大学は職業訓練所ではないとよく言われます。同じ医学部に所属している医学科や保健学科の学生は大学のカリキュラムに沿って勉強し試験に合格したら、免許がもらえ、卒業するときには医師もしくは看護師、検査技師、放射線技師として働くことができます。しかし、研究者免許たるものは存在しません。つまり、生命科学科を卒業しただけでは研究者になれる、ステップアップできる保証がないので、ある意味リスキーではあります。そのリスクを承知で自分の能力を試したい、自分が好きだからやりたいという強い意志は研究者になるのに不可欠だということを知っておいて欲しいです。

進路を決める前に、自分の将来についてもう一度問いかけ直してみてください。そして研究に熱い思いを持った皆さんはぜひ生命科学科を目指してください。来年の春、この馬出キャンパスで皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

岡部 伊織（平成29年３月卒業）

高校3年生に上がってすぐ、私は具体的に進路を決定するにあたって、まず自分がどういったことに一番興味があるのか、何を学んでいきたいのかを考えました。その結果、疾患や個体発生など、人間の身体と生命に関わる事象を学んでいきたいと考えるようになりました。これらを学びたいのなら医学科に進むのが妥当かと思われましたが、医師になりたいという気持ちもなく、他に学ぶことのできる場所はないかと探していました。私が生命科学科の存在を知ったのはその時でした。私はそれまで「医学」とは全体的に医療従事者のための学問だと思っていました。ですが生命科学科のカリキュラムを調べるうちに、医学には人体の構造や機能、疾患とその原因など医学研究の根拠となる知見を得るための学問分野である「基礎医学」と診断や治療などに直接関連する応用的な研究分野である「臨床医学」という分類があることを知り、生命科学科では前者を広範に学び、研究することができるのだということに気づきました。基礎研究の内容は私にとって興味深いものが多く、私は生命科学科の受験を決めました。

生命科学科では、1年生から3年生前期まで医学科の学生とともに授業を受けます。ほとんどが必修科目で大変な部分もありましたが、医学部ならではの授業内容や実習も多く、私が一番興味を持っていたことを学ぶことができました。3年生の6月には研究室配属が始まりました。3年次の研究室配属は、1カ月ごとに興味のある研究室を選択することができるため、複数の研究室の雰囲気や研究を体験し、比較することができました。私は生命科学科で学んだ基礎医学の道の広さに戸惑い、一つの分野を選択することが難しいと思っていたため、この3年次の研究室配属は研究者としての生活を体験するだけでなく自分の興味のある分野を一つに絞っていくという意味でも非常に有意義だったと考えています。また、定員が12名と少ないため、4年次の卒業研究の配属でも希望の研究室に配属してもらいやすい上に、学生の人数が少ない分だけ研究室の先生方も親身に指導してくださいます。私は大学院に進学し研究を続けていますが、まだまだ知らないことも多く、教えていただくことばかりです。

生命科学科の学生はほぼ全員が大学院に進学し、博士課程まで進学する学生も多いです。大学、あるいは企業での研究を志すひとにとっては、得るものの多い学科だと思います。医学研究に興味のある方は、生命科学科を選択肢の一つとして考えてみてください。

2年　樫木 優

この学科に入学してまだ１年ほどしか経っていませんが、今回このパンフレットの文章を書く機会をいただいたので少しですが紹介したいと思います。私自身、将来は医療に携わる仕事がしたいと思っていましたが、ある時ふと自分自身が幼い頃から悩まされてきたアレルギーのことをもっと知りたいと思い大学を調べるうちにこの医学部生命科学科に出会いました。農学部･理学部内のものとは違い、より医学的な面から学ぶことができるのが医学部生命科学科の最大の魅力だと思います。実際、３年前期までは医学科の人たちと一緒に同じ授業を受けます。正直レベルが高いのでついて行くのはすごく大変ですがいい刺激を受け切磋琢磨しながら勉強することが出来ます。私が思うもう一つの魅力は、約12人という一学年の人数の少なさです。そのお陰で生命科学科は横の繋がりだけでなく縦のつながりもすごく強いです。伊都での1年は教養ばかりで専門的な勉強がないため生命科学科での将来について考える機会があまりない中、年に数回ある先輩方との飲み会で、自分たちがこれから受ける授業の話や実際にもう研究している先輩方の話を聞くことができるのでこれからのモチベーションを保ち視野を広げることが出来ます。病院キャンパスに来るとＢＳという生命科学科だけが利用できる部屋があり、そこは先輩方もたくさん利用されるので授業やテストなど不安なことを気軽に聞くことが出来ます。専門授業が始まって約3ヶ月、先輩方に勉強方法を聞きながら3年前期の早期研究室配属に向けて勉強しています。九州大学医学部生命科学科は大変な部分ももちろん多いですが研究者になるための勉強や経験だけでなく、素敵な人間関係も築くことが出来ます。このパンフレットを読んでさらに興味を示してもらえれば幸いです。では来年皆さんとお話しできるのを楽しみにしています。

2年　佐々木 慈英

今回、生命科学科のパンフレットに掲載される文章を書く機会を与えられたので、私が生命科学科を志望した理由と、この学科の魅力を書きたいと思います。

私がこの学科を知ったきっかけは、インターネットで、ウイルス研究をするためには、どんな学科に行けばいいのかを調べたときに、たまたま検索結果の一番上に生命科学科のホームページが出てきたことでした。他の大学にも「生命科学科」という学科はありますが、最も医学に特化しているのは九州大学の生命科学科だと感じたことが、志望動機の一つでした。生命科学科のホームページを見てみると、医療知識を持つ研究者を育てる学科とあり、講義のカリキュラム説明の欄に「早期研究室配属」があったことも決め手となりました。私は少しでも早く、将来の夢である、ウイルス研究をしたいと思っていたので、この学科は私にとって理想の学科でした。

次に、この学科の魅力を書きたいと思います。この学科の一番の魅力は、３年次前半まで医学科と同じカリキュラムで進むことだと思います。医学科と同じ授業を受けることで、自分のやりたい研究に関する医療的知識以外のことも知ることができるのは、大きなメリットだと思います。また、現時点でまだ興味のある研究がない人も、普段受ける講義から興味のある研究を見つけることができると思います。さらに、医学科の人と授業を受けるので、医学科の人と知り合いになれることも将来的には役立つ時があると思います。前述した早期研究室配属も魅力の一つだと思います。他の大学で学部生の時に研究を体験できるところは、私が調べた中では、あまりなかったので、将来研究の道に進もうと考えている人にとっては大きなアドバンテージになると思います。ただ、医学科と同じ内容ということもあり、一つ一つの授業の内容がかなり濃いものとなっています。そのため、一回あたりのテスト範囲が広く、日々の復習がとても大切になります。また、一年次は医学についての講義は無いので、入学してすぐにでも医学の知識を学びたい方には、初めの一年はかなり苦痛だと思います。私もその一人でした。

最後になりますが、今回オープンキャンパスに来た皆様と、今度は学部生として馬出キャンパスで会うことを楽しみにしております。

建 物 配 置 図　CAMPUS MAP

⑱ナイチンゲール誓詞の碑

⑩郭沫若先生顕彰碑

⑦釜掛の松

⑧長塚節逝去の地

⑪ヒポクラテスの木

⑨九大生協食堂

⑫医学図書館

⑬医学部正門

⑭医学部75周年記念庭園

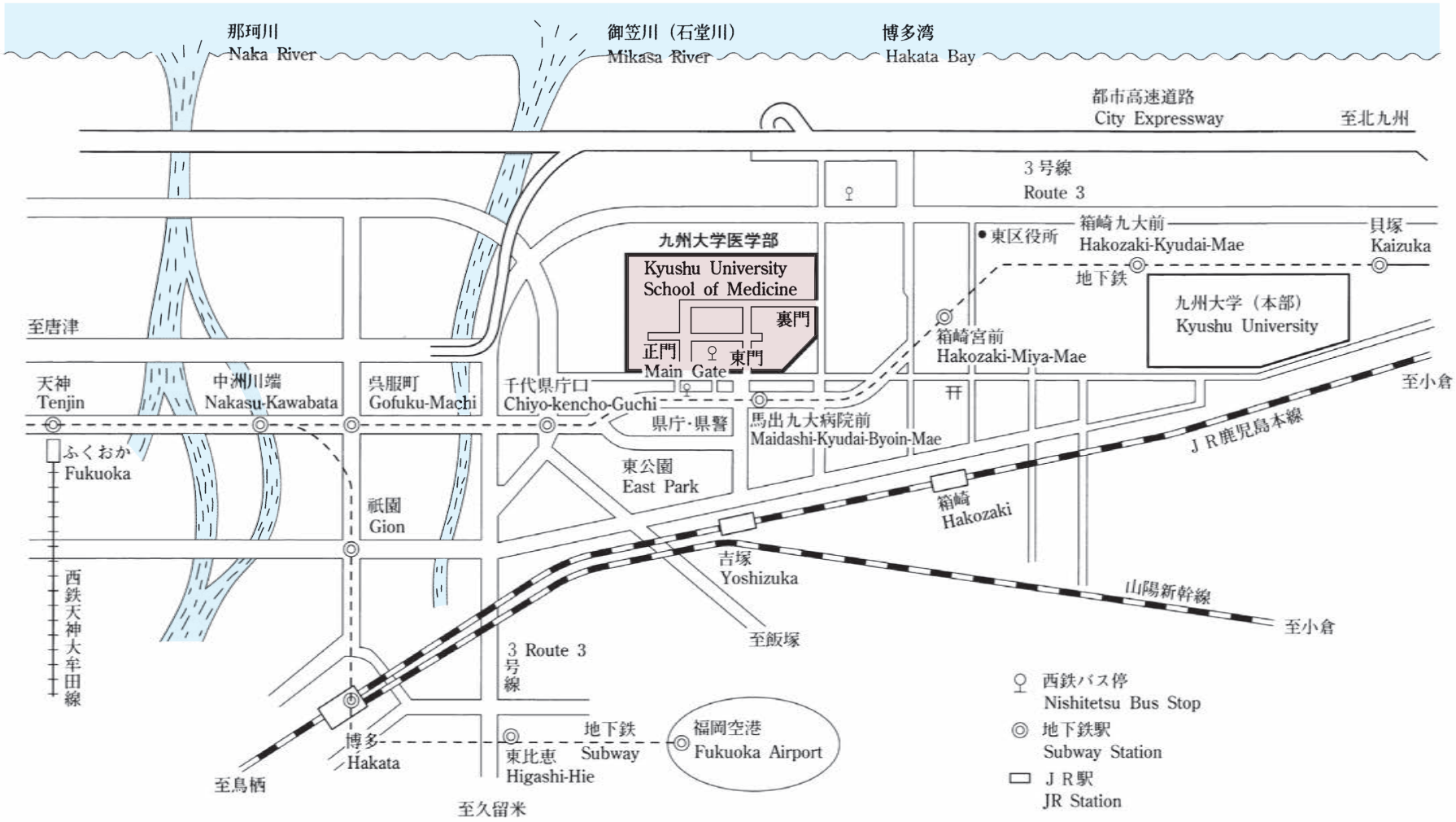
⑮神の手

⑰百年講堂

⑯慰霊塔「崇高な精神」

所在地略図 AREA MAP

医学部医学科、生命科学科
〒812-8582 福岡市東区馬出３丁目１番１号 ☎092-642-6020 FAX. 092-642-6189
3-1-1 Maidashi, Higashi-ku, Fukuoka City 812-8582 http://www.med.kyushu-u.ac.jp/



○ 博多駅から地下鉄（中洲川端駅で乗り替え）で約10分
Subway service from Hakata Station to Maidashi-Kyudai-Byoin-Mae is a 10 minute ride, but, necessary to change trains at Nakasu-Kawabata on the way

○ 博多駅から西鉄バス（系統番号10番九大前又は吉塚営業所行き）で約15分
Nishitetsu bus service, No. 10 Kyudai-Mae' or Yoshizuka-Eigyosho-Yuki', from Hakata Station to Kencho-Kyudai-Mae is a 15 minute ride

○ 福岡空港からタクシーで約20分
20 minute taxi ride from Fukuoka Airport

○ 福岡インターチェンジから約20分
20 minute car ride from Fukuoka Interchange

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学医学部生命科学科ホームページ
http://www.biomed.med.kyushu-u.ac.jp/